

仙台市議会だより

sendai city assembly

第157号

平成24年

第2回定例会号

http://www.gikai.city.sendai.jp

2012年(平成24年)8月発行

発行 仙台市議会

編集 仙台市議会広報委員会

TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



仙台七夕まつり

藩祖伊達政宗公の時代から続く仙台七夕まつり。昨年は、世界中から200万人を超える方々が訪れ、鎮魂を祈りました。ことしも復興への願いを込めて、8月5日(日)花火祭、6日(月)～8日(水)七夕まつりが開催されます。

(写真：仙台七夕まつり協賛会提供)

震災復興関連の補正予算を含む22件の議案等を可決

6/22	6/20	6/15 ・18・19	6/13 ・14	6/7
本会議	常任委員会	本会議	本会議	本会議
・常任委員会委員長報告 ・討論 ・議案の採決 ・意見書の採決 など	・議案の審査	・一般質問 19人	・追加議案説明 ・代表質疑 6人	・人事案件 ・議案の提案理由説明

定例会会期日程

市民のみなさまへ

第2回定例会

定例会には、震災復興にかかわる経費を含む大型補正予算案や条例案など市長提出議案19件、議員提出議案等5件の議案が提出されました。

議会では、防災集団移転促進事業や県道かさ上げ工事等の進捗状況、震災後の経済復興への取り組みのほか、通学路の安全対策などについて質疑がなされ、真剣な議論が重ねられました。

さらに最終日には、震災からの復旧・復興と被災者の生活再建に向けたさらなる支援拡充を国に求める意見書2件を、全会一致で可決しました。

東日本大震災復興会議
4月25日に、全議員で構成する東日本大震災復興会議が開催され、地域防災計画のうち早期

に検討すべき課題について質疑が行われました。具体的には、震災に関する市民アンケートの結果や避難所運営の見直しなどについて、各議員から活発な質問や提言がなされました。

審議の活性化へ新たな一歩

昨年、副議長を座長として設置された議会機能充実推進会議は、これまで審議の活性化に向けた議論を重ねてまいりました。その結果、審議が分かりやすく、また議論がより深まることから、本会議における一問一答方式の導入についての基本的な方針を取りまとめました。

今後とも、議会機能の充実と市民に身近なより開かれた議会を目指し、全力で取り組んでまいります。

仙台市議会
議長 佐藤 正昭
副議長 木村 勝好

会派別所属議員

自由民主党・仙台復興仙台	公明党仙台市議団	社会党仙台市議団	日本共産党仙台市議団
田村 啓文 西澤 範夫 斎藤 和彦 加藤 繁雄 鈴木 新治郎 伊藤 次彦 赤藤 正昭 佐藤 正謙 野田 正謙 菅原 健 やしる 美香 菊地 崇良 市民フォーラム仙台 日下 富士夫 安孫子 雅浩 岡本 あき子 小野寺 健 渡辺 公一 木村 勝好 佐藤 わか子 加藤 けんいち 渡辺 敬信	鈴木 勇治 岡部 恒司 庄司 充 橋本 啓一 跡部 薫 佐々木 両道 渡辺 敏博 柿沼 万男 高橋 次男 公明党仙台市議団 嶋中 昭一 嶋木 貴志 鈴木 広康 鎌田 行 小野寺 裕 小田島 久美子 佐藤 和子 佐々木 真由美	嵯峨 則彰 花木 和子 ふるくぼ 和美 ふなやま 由美 高見 のり子 すげの 直子 庄司 あかり 社会党仙台市議団 小山 勇朗 大槻 正俊 石川 建治 相沢 和紀 ひぐち のりこ	自由民主党 大泉 鉄之助

平成24年6月22日現在

主な議案の紹介

平成24年度補正予算

〇一般会計(主な補正項目)

・東日本大震災復興交付金基金の造成積立を行うため、363億916万2千円を計上するもの
・非常時ににおけるエネルギー確保や特定のエネルギー源への依存度の低減のほか、平常時においても高いエネルギー効率と経済性の両立を図る「エコマデルタウン」の整備推進のため、24億1993万5千円を計上するもの
・復興公営住宅の建設に必要な経費を追加するため、32億9833万4千円を計上するもの

条例など

〇市税条例の一部を改正する条例
「東日本大震災復興特別区域法」等の制定を考慮し5力年度分に限り対象施設等に係る固定資産税および都市計画税を課さないこととする等のもの

自由民主党・仙

菅原 健 議員

防災集団移転促進事業について

問 本市の防災集団移転事業計画は、7割の居住者からの申出書を踏まえて策定されたものだ。3割の未提出者や変更希望者について対応するの。また、事業計画の最終確定時期、跡地買い上げや移転先の確保はいつごろになるのか、今後の見通しを伺う。

答 事業計画は、未提出者も含め

復興公営住宅入居者への支援

問 津波浸水区域の集団移転対象者で、復興公営住宅に入居する場合の支援措置は、引越費用は誰が負担する。被災者生活再建支援金とは別に、国に制度創設を求めるところに、本市独自の支援も行っているか。

答 本市の復興公営住宅入居者は



若林西復興公営住宅完成イメージ図

民間より低廉な設定であり、さらに国の家賃低減事業の活用や制度拡充も含め、家賃負担の軽減について対応を検討してまいりたい。

その他の主な質疑項目

- 復興に向けた市長の覚悟
- 復興交付金の第2次配分結果等
- 宅地被害への対応
- 仮設住宅入居者の見守り等
- 被災中小企業の経営再建への支援
- 被災地域農業復興総合支援事業

復興仙台

跡部 薫 議員

災害時における市民の自助力向上を図るべき

問 大規模災害に対しては「公助」「自助」だけでは限界がある。まず、地域防災の基礎となる「自助」が重要であり、自助力の必要性が、しっかりと根付くよう取り組むべきと考えられているか。

答 災害時には、自らの命は自らを守るという意識を持ち、飲料水や食料を備蓄する等の「自助」



東日本大震災を踏まえた避難所運営訓練 (6月12日仙台市総合防災訓練)

が必須である。地震防災アドバイザーによるマスコミを利用した広報等や地域防災リーダーの養成を通して、「自助」の必要性を認識できる機会を増やしていきたい。

問 東北経済の復興・再生に向けた取り組みについて

問 本市はもとより東北の中小企業の持続的な復興・再生には、商品・サービスに対する内需拡大

答 「東北3つけんパーク」や中心部商店街への支援を継続すること、中心市街地のぎわいが東北各地に波及するよう努めたい。

その他の主な質疑項目

- 市長任期残り1年の所信と決意
- 仙台国際ハーフマラソン大会の成果と次年度に向けた抱負
- 復興財源の確保と行財政改革
- 大都市制度「特別自治市」について市民への丁寧な説明を
- エコモデルタウンプロジェクト
- 農と食のフロンティア特区
- がれき処理の進捗状況と他自治体のがれき受け入れ

市民フォーラム台根仙

小野寺 健 議員

登下校時の児童・生徒の安全確保

問 全国で登下校時の交通事故が相次いでいる。急ぎ通学路を点検し、関係部局で連携し問題を整理して適切に対処すべきではないか。所見を伺う。

答 保護者や地域の協力のもと通学路の安全点検を行い、警察等の関係機関に要望や相談を行った。今後とも、関係機関と連携



通学路の安全対策を早急に行うべき

問 PRE(公的不動産)戦略の導入と公共施設白書の作成

答 財政健全化に向け、公的不動産の有効活用・最適化を図るべき。PRE戦略の導入と公共施設白書の作成を求められているか。

問 仙台市基本計画に公共施設

改革を掲げ、組織横断的に検討を進めてきた。震災被害による施設被害状況も踏まえて、具体的な取り組みにつなげていきたい。

その他の主な質疑項目

- 復興交付金の第2次配分で採択が見送られた宅地復旧などの支援策について他の自治体と連携し引き続き採択を目指すべき
- みなし仮設住宅の期間延長を県と連携し取り組むべき
- 今年度、仮庁舎の賃借費用に約4億円かかっている。市庁舎全体のあり方について考えるべき
- 仮に塩釜・松島と隣接地に水族館がある場合、出資して誘致を行うことに市民の理解が得られるのか。塩釜市に建設されるのであれば支援してもよいのでは
- 生活保護制度への信頼が揺らいでいる。公平・公正な対応を。
- 泉岳自然ふれあい館について

代表質疑

本 日 共 産 党

高見 のり子 議員

市独自支援策を復興交付金事業として採択するよう求めよ

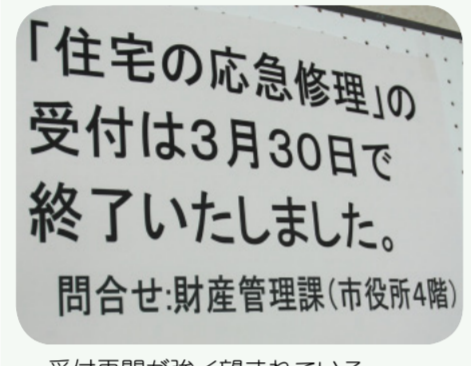
問 国は市が復興交付金に申請した宅地再建事業等の独自支援策を不採択とした。国に対し、断固として採択するよう迫るべき。

答 国に対し、これまで当該事業の必要性を丁寧に説明してきたが、「個人資産の形成に資する等の事業」に該当するとの見解から認定が得られていない。今後は本

住宅応急修理制度の受付再開を

問 住宅応急修理制度の受付再開を決定し、国に再開を認めさせるよう頑張るべき。またさかのぼって適用することも国に求めよ。

答 受付の終了に当たっては、市政だより等で申込終了期限を周知することにより、震災証明の判定結果がまだの方に仮申し込みを認める措置を講じるなど、極力被災者の救済に努めてきたところであり、受付再開は考えていない。さかのぼって適用することについても、受付に際し可能な限り柔軟に対応してきたことから、本市独



「住宅の応急修理」の受付は3月30日で終了いたしました。 問合せ:財産管理課(市役所4階) 受付再開が強く望まれている住宅応急修理制度

自の救済策を講じる考えはない。

その他の主な質疑事項

- 災害危険区域に住み続けたいと願う住民がアイデアを提案した場合、受け止めて検討すべき
- 移転対象地区の建物移転は流出・解体した住宅等も対象に
- 移転対象地区外の移転希望者へも土地の買い取り等支援すべき
- 敬老乗車証の10月改悪は撤回を
- 女川原発の再稼働反対を明確に

社 民 党

相沢 和紀 議員

復興関連の用地確保は直接買収方式で

問 被災した東部地区のほ場整備計画が進められているが、防災集団移転用地や泉道かさ上げ用地の取得にあたってはスピード等を重視し、直接買収方式で行うべき。

答 用地取得については、ほ場整備事業の中で確保した用地を取得する手法と、土地所有者から直接取得する手法の二つがあるが、

泉道かさ上げ工事の今後のスケジュールについて

問 復旧は進んでいるが、復興への取り組みは弱い。復興事業特に泉道塩釜百理線等の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

答 各種都市インフラの復旧やがれき撤去等はおおむね順調に進んでいる一方、復興事業については財源が確保できたため、今年度後半に具体の工事に着手できる状況になった。泉道のかさ上げ工事については、今年度は基本設計、測量、調査を行う予定である。来



六郷地区の防災集団移転先の計画図

年度は用地取得を開始し、またまた用地が確保できたところから着手し、スピード感をもって進めてまいりたい。

その他の主な質疑項目

- 復興交付金制度の問題と確保策
- 農機具リース事業の適正な入札を
- バス事業の円滑な運営を確立するため、職員採用の再開を求める
- 超過大規模校となる広瀬中の分離新設に向け、早急な対応を

常任委員会審議の概要

平成24年6月20日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣にまとめて記載してします。

また、各議案名は、4面の会派別議案賛否一覧表をご覧ください。

(○は付託議案に対する質疑項目)

市民教育委員会

(第99・102・104・106・111号)

付託された6議案のうち、第99号議案および第102号議案は賛成多数で、その他4議案については全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

○現在の泉岳少年自然の家に代わる泉岳自然ふれあい館について

○外国人の住民登録について

都市整備建設委員会

(第99・100・110・113・117・議第3号)

付託された6議案のうち、第100号議案は賛成多数で、第99号議案、第110号議案、第113号議案および第117号議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

○被災地域農業復興総合支援事業

○被災中小企業に対する本市の利子補給制度の拡充

意見書

《可決された意見書》

意見書第2号

東日本大震災からの一日も早い復旧・復興に向けた支援拡充を求める件

意見書第3号

後期高齢者医療制度等の減免対象期間の延長を求める件

可決した意見書は、国会および関係行政に提出しました。

市議会を傍聴してみませんか

仙台市議会の本会議および委員会等については、どなたでも簡単な手続きで傍聴することができま。議会開催日当日、議事堂までお越しください。

また、市議会では、議会テレビ中継を市役所本庁舎市民のへや、各区役所・総合支所ロビーにおいて行っています。放映時間は午後1時から5時までです。ぜひご覧ください。

お問い合わせ先

〈傍聴〉 議会事務局庶務課
TEL 214・6164

〈議会中継〉 議会事務局調査課
TEL 214・6169

用語解説

●「エコモデルタウン」(注1)

①面6段、②面6段、③面1段③面3段

再生可能エネルギーなどの活用により、特定のエネルギーに過度に依存せず、かつエネルギー効率の高い、非常時にも安心な都市づくりを行う「エコプロジェクト」。

●「PRE戦略」(注2)②面2段

PREは、パブリック・リアル・エステートの略。公的不動産を財政運営の観点から効率的に管理、運用する取り組み。

●「絆支援員」(注3)④面6段

本市をNPOが協働で実施している「安心見守り協働事業」で、安否確認の訪問、支援策の情報提供、各種相談等を行い、仮設住宅居住者の生活面をサポートする支援員。

総務財政委員会

(第99・103・114・117号)

付託された4議案のうち、第99号議案は賛成多数で、その他3議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

○「エコモデルタウン」事業の事業費について

○復興特区における税の軽減措置

健康福祉委員会

(第99・107・108・112・議第4号)

付託された5議案のうち、議第4号は賛成少数により本会議で可決すべきものと決定し、その他4議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

○鶴ヶ谷地区の児童館整備

○住宅の応急修理制度の役割と受付再開について

都市整備建設委員会

(第99・100・110・113・117・議第3号)

付託された6議案のうち、第100号議案は賛成多数で、第99号議案、第110号議案、第113号議案および第117号議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定し、議第3号は賛成少数で本会議において否決すべきものと決定しました。

議員表彰

永年にわたり市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会(5月23日開催)において、次の議員が表彰されました。

○特別表彰(議員在職25年以上)

鈴木 繁 雄
小山 勇 朗
渡辺 公 一

お問い合わせ先

〈傍聴〉 議会事務局庶務課
TEL 214・6164

〈議会中継〉 議会事務局調査課
TEL 214・6169

再生可能エネルギーなどの活用により、特定のエネルギーに過度に依存せず、かつエネルギー効率の高い、非常時にも安心な都市づくりを行う「エコプロジェクト」。

PREは、パブリック・リアル・エステートの略。公的不動産を財政運営の観点から効率的に管理、運用する取り組み。

絆支援員は、本市をNPOが協働で実施している「安心見守り協働事業」で、安否確認の訪問、支援策の情報提供、各種相談等を行い、仮設住宅居住者の生活面をサポートする支援員。

一般質問

自由民主党・仙台

菊地 崇良 議員

○市税の減免等一層の支援拡充
○移転先地盤の不安払拭、旧宅地の増価策と早期買い取り

○防災移転の新街区と周辺街区での安全・快適な道路の整備
○揚排水機復旧・良質な客土
○仮設焼却炉の熱量の有効活用
○復興資金還流への特区活用
○バス路線の見直しと将来構想
○月2回の土曜日授業の導入
○今後の市スポーツ振興施策
○議会への適切な情報提供

やしろ 美香 議員

○本市は情報サービス関連産業特区に認定されたが、特区への進出企業と連携し、IT化をさらに推進すべき。
行政サービスのIT化を進めてきたが、今後、ソフトウェアの共同開発の可能性等について研究していきたい。
○児童虐待問題への取り組み
○ごみ有料化の検証等
○国会議員への市バス無料乗車証の廃止

鈴木 繁雄 議員

○旧武道館跡地は、同じ路線の隣地より約3割も安価で売却された。価格を審議する公有財産価格審議会の機能強化と、価格を決定する市の責任と体制の強化を求める。
○実効性のある審議となるよう一層の情報収集・提示に努め、価格の決定には多重チェック等、より厳格で慎重な審査を行っていききたい。
○職員の海外研修の必要性等

市民フォーラム仙台

加藤 けんいち 議員

○通学路の安全対策として、道路環境というハード面

の整備、特に歩道確保に向けた道路両側に白線の設置を。
○片側設置の通学路について、現地状況を再確認し警察と協議していく。
○震災を踏まえたLNG(液化天然ガス)の調達
○地下鉄広告の収入拡大対策
○防災教育と、学区民運動会への防災訓練種目導入

岡本 あき子 議員

○放射能について市内測定結果の評価を伺う。また、市民に伝わる広報手段の工夫を。
○現状では、健康への影響はないものと考えている。今後とも測定を継続し、分かりやすい広報に努めたい。
○復興公営住宅について、高齢者等とその支援者が共に優先入居できるルールに
○緑ヶ丘地区の被災者にも戸建て復興公営住宅整備を
○成功した国際ハーフマラソン開催の意義と、復興に向かう本市を全国に発信する大会の今後の取り組みを伺う。
○復興への想いを今大会「杜の都ハーフ」を通して全国に発信できた。今後ともさらなる魅力向上に努めたい。
○本市の児童生徒数は、20年間2万5千人も減少している。学校区と地域組織のあり方への認識を問う。

安孫子 雅浩 議員

○成功した国際ハーフマラソン開催の意義と、復興に向かう本市を全国に発信する大会の今後の取り組みを伺う。
○復興への想いを今大会「杜の都ハーフ」を通して全国に発信できた。今後ともさらなる魅力向上に努めたい。
○本市の児童生徒数は、20年間2万5千人も減少している。学校区と地域組織のあり方への認識を問う。

復興仙台

高橋 次男 議員

○生診療所は、身近な医療機関として地域住民の期待が大きい。古い医療機器は更新し、改善を図るべき。
○地域のかかりつけ医療機関の役割を果たせるよう計画的な更新に努めたい。
○伊達家無尽灯籠の復元・公開
○兜塚古墳の一般公開と、沿倉吉兵衛先生(仙台白菜生みの親)の胸像復元を

○成人式の運営について
○災害時の円滑な医療提供の確保に向けて、仙台市医師会との連携を強化すべき。
○震災の経験を踏まえ、医師会と協議しながら情報共有や医療体制整備を進めたい。
○持ち込み食材の放射性物質検査を早急に進めたい
○茨川等子供の学習の場や遊び場の空間放射線量測定
○バス事業の活性化に向けて路線バスの安全運行
○ゲートキーパー活用を含め、市民全体で自殺予防対策を
○動物愛護の効果的取り組み
○本市のエネルギー政策
○震災後の道路陥没等への対策
○町内会を元気づけ、役割や責任を明確にした市等との相互協体制づくりを
○学校支援地域本部のあり方
○2市2町合併から四半世紀、合併の総括とやり残した課題の検証をすべき

鈴木 勇治 議員

○災害時の円滑な医療提供の確保に向けて、仙台市医師会との連携を強化すべき。
○震災の経験を踏まえ、医師会と協議しながら情報共有や医療体制整備を進めたい。
○持ち込み食材の放射性物質検査を早急に進めたい
○茨川等子供の学習の場や遊び場の空間放射線量測定
○バス事業の活性化に向けて路線バスの安全運行
○ゲートキーパー活用を含め、市民全体で自殺予防対策を
○動物愛護の効果的取り組み
○本市のエネルギー政策
○震災後の道路陥没等への対策
○町内会を元気づけ、役割や責任を明確にした市等との相互協体制づくりを
○学校支援地域本部のあり方
○2市2町合併から四半世紀、合併の総括とやり残した課題の検証をすべき

渡辺 博 議員

○ゲートキーパー活用を含め、市民全体で自殺予防対策を
○動物愛護の効果的取り組み
○本市のエネルギー政策
○震災後の道路陥没等への対策
○町内会を元気づけ、役割や責任を明確にした市等との相互協体制づくりを
○学校支援地域本部のあり方
○2市2町合併から四半世紀、合併の総括とやり残した課題の検証をすべき

公明党

佐藤 和子 議員

○孤独死防止の見守り事業が、ますます重要。支援員の短期雇用を含め、現場の状況と課題をどう認識しているのか伺う。
○絆支援員が仮設住宅を戸別訪問し安否確認を行っているが個人情報保護が課題。長期・安定的な実施に向け財源の確保等に取り組んでいく。
○県道仙台山寺線の歩道整備
○緑ヶ丘4丁目の宅地支援

鈴木 広康 議員

○市内通学路の安全対策のため、国の補助金や市独自の通学路安全対策予算をしっかりと確保せよ。
○通学路の安全対策は喫緊の課題である。今後とも交通安全施設整備に係る補助金

や交付金の予算を確保し、危険箇所の解消に努力していく。
○不登校児童生徒対策
○総合防災訓練の成果と対応
○消防バイクの導入を

日本共産党

庄司 あかり 議員

○被災して、学生や保護者が困難を抱えている。給付制奨学金制度を国に求めるとともに市独自でも創設すべき。
○大学生の奨学事業充実を国に求めるとともに県の給付型奨学金制度等の周知を図り、利用促進に努めたい。
○就職活動中の青年に普通免許取得やパソコン購入の補助を
○青年の家賃補助制度の創設
○被災中小企業に直接支援を
○被災中小企業に直接支援を
○保健師の増員や仮設住宅被災者支援を強め、孤独死をつくらない対策を急ぐべき。
○人員体制の確保や地域見守りの強化、生活支援システムの活用により尽力したい。
○震災関連死の制度周知を
○医療機関や介護施設等への災害時備蓄品等の支援強化
○人工呼吸器装着者へ発電機やバッテリー購入助成を
○ふれあい福祉バス事業継続

ふなやま 由美 議員

○保健師の増員や仮設住宅被災者支援を強め、孤独死をつくらない対策を急ぐべき。
○人員体制の確保や地域見守りの強化、生活支援システムの活用により尽力したい。
○震災関連死の制度周知を
○医療機関や介護施設等への災害時備蓄品等の支援強化
○人工呼吸器装着者へ発電機やバッテリー購入助成を
○ふれあい福祉バス事業継続

社民党

石川 建治 議員

○他都市に学び、積極的な空き家対策を。
○空き家の活用や老朽家屋の解体・撤去を促す方策等、他都市を参考に関係部局と連携し、検討していきたい。
○「空き家等の適正管理に関する条例」制定の検討を。
○各地の事例を検証し、有効な対策の検討を進めたい。
○中古住宅の活用促進
○新・住まいの基本計画策定

小山 勇朗 議員

○男女共同参画推進の一

会派別議案等賛否一覧表

議案等 []内は議案番号	会派名 ()内は所属議員数						採決結果
	自由民主党	みんなの党・みんなの仙台	社民党仙台市議団	日本共産党仙台市議団	公明党仙台市議団	復興仙台	
補正予算案 一般会計(第1号)[99] 自動車運送事業会計(第1号)[100] 一般会計(第2号)[117]	○	○	○	○	○	○	可決
条例制定案 東日本大震災により被害を受けた中小企業者等に対する求償権の放棄等に係る承認に関する条例[101]	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正案 市税条例[103]、印鑑条例[104]、手数料条例及び敬老乗車証条例[105]、特定非営利活動促進法の施行に関する条例[106]、敬老祝金支給条例[107]、児童福祉施設条例[108]、廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例[109]、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例[110] 泉岳自然ふれあい館条例[102]	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案 財産の取得に関する件[111]、指定管理者の指定に関する件[112]、市道路線の認定及び廃止に関する件[113] 専決処分事項に関する件[114] 固定資産評価員の選任に関する件[115]、 資産等公開審査会の委員の委嘱に関する件[116]	○	○	○	○	○	○	可決 承認 同意
議員提案 議第3号 平成23年東北地方太平洋沖地震による被災住宅再建費助成条例 議第4号 敬老乗車証条例の一部を改正する条例を廃止する条例 意見書第2号 東日本大震災からの一日も早い復旧・復興に向けた支援拡充を求める件、 意見書第3号 後期高齢者医療制度等の減免対象期間の延長を求める件 議員派遣の件	×	×	×	×	○	×	否決 可決 可決

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対

環として各種審議会の女性委員登用率35パーセント達成を。
○新規分野からの人選等従来のルールにとらわれない登用に集中的に取り組んでおり、今後も積極的に推進したい。
○移転に際し市が買い取る土地の抵当権を外す支援対策を
○包括外部監査指摘事項等の改善と議会への結果報告を
○ふれあい福祉バスの継続を

みんなの党・みんなの仙台

及川 英樹 議員

○本市のHIV・エイズ・性感染症の正しい知識の普及啓発とB型肝炎を含めた検査体制の工夫への取り組み
○脱法ハーブについての認識と学校や市民への啓発および宮城県業務課との連携
○救急車出動の現状と課題への対策、心室細動時の心肺蘇生に有効なAEDの普及に伴う取り扱い等の啓発と

早坂 あつし 議員

○本市の児童虐待件数および表面化しにくい虐待の増加を踏まえ、今後の対応強化等の必要性について伺う。
○虐待の状況把握や児童の安全確保に適切に対応するとともに、教職員への研修や関係機関との連携体制の構築等をさらに充実させ、虐待防止に努めてまいりたい。
○不安軽減のための子供たちの内部被ばく検査等の対策

小野寺 淳一 議員

○早期の仮設住宅入居に向けた手続きの改善について。
○当初の試行錯誤と主体的な住宅整備ができない法制度が課題と認識している。
○地域特性を考慮した仮設住宅整備のために市県同等の権限を持つべき。
○国への法改正要望と併せ県へも申し入れしたい。

○仙台で飲酒運転撲滅宣言を
○東部地区への津波避難タワー

自由民主党

大泉 鉄之助 議員

○震災後の地域経済の再生・振興にあたり伊藤副市長就任は天の配剤というべき。誤りなき本市経済振興の舵取りを担う決意を伺う。
○神戸の事例に学び、経済の足腰の強化に取り組むながら東北の復興を牽引する使命を果たすべく、粉骨砕身取り組んでまいりたい。
○業務量に応じた臨機応変かつ柔軟な組織のあり方

平成24年第3回定例会は、9月5日(水)に開会の予定です。

